

「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」  
(第4回選定)応募団体

# 取組事例集

島根県版



平成30年3月  
中国四国農政局



# 発刊にあたって

「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」は、内閣官房及び農林水産省が、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現のため、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化、所得向上に取り組んでいる優良な事例を選定し、全国への発信を通じて他地域への横展開を図るもので、今年度（平成29年度）で4回目となります。

今年度は、中国四国農政局管内で172地区の応募があり、「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」として6地区（全国31地区）が選定されました。

さらに、今年度の応募を機に、中国四国農政局では、応募のあった地区の中から、他の地域の参考となるような優良な事例を、「中国四国農政局『ディスカバー農山漁村（むら）の宝』」として17地区選定しました。

また、今年度応募のあった地区の事例について、その地域での「農山漁村（むら）の宝」として広く情報発信するとともに、身近な地域の取組として紹介するため、各県別の事例集を作成しました。

各地域において参考にしていただき、農山漁村や農林漁業への関心を深めていただくきっかけになれば幸いです。

※「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」の情報は、中国四国農政局のホームページ（下記URL）をご覧ください。

<http://www.maff.go.jp/chushi/nouson/kaseika/discover.html>

平成30年3月  
中国四国農政局農村振興部

# 目次

○ 「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」について ……	1
○ 応募団体一覧 ……………	6
○ 応募団体位置図 ……………	7
○ 応募団体の取組事例 ……………	8

## 「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」について

「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」とは、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現に向けて、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化、所得向上に取り組んでいる優良事例を選定し、全国へ発信するものです。

### 1. 「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」（第4回選定）

今回の「ディスカバー農山漁村の宝」（第4回選定）では、平成29年6月15日から9月11日までに、農山漁村活性化の取組として全国から844地区（管内からは172地区）の応募があり、10月24日に首相官邸で開催された第2回有識者懇談会において31地区の優良事例が選定されました。

11月22日開催の選定授与式及び交流会では、選定地区の代表者を首相官邸に招いて選定証を授与し、内閣総理大臣、農林水産大臣、地方創生担当大臣からの直接の激励や地域リーダー同士の交流が行われました。また、11月23日に「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」の紹介や選定地区の知名度向上に資するため、東京都内で選定地区による即売会（マルシェ）が開催されました。

中国四国農政局管内から優良事例として6地区が選定され、特別賞のフレンドシップ賞（インバウンドに対応した農山漁村滞在型旅行（農泊）に取り組んでいる優良事例）に徳島県三好市の「大歩危・祖谷いってみる会」が選定されました。



「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」交流会



「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」ロゴマーク

### 2. 中国四国農政局による取組

今年度の「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」（第4回選定）の応募を機に、中国四国農政局では、管内で応募のあった172地区の中から、他地域の参考となるような優れた地域活性化の事例を「中国四国農政局『ディスカバー農山漁村（むら）の宝』」として広く発信することとし、平成29年11月、中国四国農政局「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」選定委員会を開催し、17地区を選定しました。

また、中国四国農政局管内での「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」の応募喚起や他地域への横展開を推進するため、今年度新たに応募全地区（172地区）に対して参加証を発行するとともに、選定地区（17地区）に対して選定証の授与及びロゴマークを進呈することとしました。



中国四国農政局「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」  
ロゴマーク



「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」  
参加証

## (1) 全国版選定地区〔管内〕の概要（ディスカバー農山漁村（むら）の宝（第4回選定））

### 大歩危・祖谷いってみる会（徳島県三好市） **特別賞受賞（フレンドシップ賞）**

- 道路網の充実で通過点となることを危惧し、地域全体の情報発信を開始。
- 香港やシンガポールの裕福層を中心にインバウンドの誘客に行政と連携して取り組む。
- 地域資源を活かしたイベントやツアーを企画、実施。
- 郷土料理の発掘、新名物や土産品の開発にも取り組む。



海外でのプレゼンテーションの実施

### わかさ29工房（鳥取県若桜町）

- 捕獲数が増えている鳥獣を里山の恵みとして特産化を推進。
- 全国のシェフを招待し、安心安全なジビエや豊かな自然をPR。
- 処理施設の衛生管理の向上を図るため、県版HACCPを取得。
- 保冷車で集荷することで、夏季や遠隔地にも対応。猟師が持ち込んだシカは全頭受け入れ。



安心安全なジビエをPR

### 飯南町注連縄企業組合（島根県飯南町）

- 大しめ縄の技術継承が、有志による取組では困難になり、企業組合を設立。
- 大しめ縄の受注のほか、正月飾り等の小物の作成も実施。
- 伝統を継承しつつ、活動費や雇用を確保。
- 大しめ縄の制作現場を外国人はじめ一般に公開し、しめ縄作りの体験も実施。



しめ縄づくり体験

### 株式会社 Archis（山口県山口市）

- 地域活性化のために始めた米づくりと名水百選の水を活かし、日本酒を醸造。
- 世界の裕福層に認められるためのブランド戦略により、世界へ発信。
- プレミアム感の創出などにより付加価値の向上を図る。
- 古民家を地域のコミュニケーションの拠点として再生。



海外での日本酒プロモーション

### 「四国の右下・魅力倍增」推進会議（徳島県美波町）

- 徳島県南部地域の知名度向上のため、1市4町が連携。
- 「南阿波」を冠した「南阿波グルメ」を開発。
- 「四国の右下」食の博覧会の開催などにより、情報発信。
- イベントに合わせて販路拡大のためのマルシェを開催。



イベントでのマルシェの開催

### 日高村オムライス街道推進プロジェクト（高知県日高村）

- 特産のトマトと地元のお店で供されているオムライスを繋いだ活性化を実施。
- キャンペーンやイベント出展、シェフの料理教室等を実施。
- サイクリングコースやレンタサイクルの整備、外国語パンフレットの作成にも取り組む。
- JAが新規就農者を育成。トマト生産量が拡大し、出荷場も整備。



シェフの出張料理教室



## （２）地方版選定地区の概要（中国四国農政局「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」）

### 大江ノ郷自然牧場グループ有限会社ひよこカンパニー（鳥取県八頭町）

- 体験スタジオを設け、バームクーヘン作り等の食育体験や、子供対象の飼育体験、パティシエ体験等のお仕事体験を実施。
- 自社生産の鶏卵のほか、地元農家の野菜や自社の廃鶏を有効活用し、鶏肉ハム・ソーセージや総菜類、卵スイーツ等の食品製造を行い、高付加価値商品として販売。



体験スタジオ（パティシエ体験）

### 株式会社日南シルクファーム及び日南物産株式会社（鳥取県日南市）

- トマトの契約栽培を進め、山陽・関西方面への販路拡大、地元市場への販売量増加を目指す。
- 地元高校や業者、NPO法人等と連携し、ドレッシング等の商品を開発。今後は障がい者施設との農福連携も計画。
- トマト・大豆・イチゴ等の栽培ほ場での都市住民との交流。



島根大学との交流

### 窪田ふるさと会（島根県出雲市）

- 雑草対策として放牧した羊の羊毛加工を行い、マフラー等の製品を販売。毛刈り体験等を通じて、児童や地域内外の住民との交流を推進。
- 地元産木炭を活用した川の水質浄化や子供の環境学習を実施。
- 環境保全型農業への取組や大規模ハウスでの野菜の生産など、中山間地域での農業経営の多角化を推進。



羊とのふれあい体験

### おおだ一日漁推進協同組合（島根県大田市）

- 統一デザインロゴ、ポスターの作成や一日漁カレンダーの配布等によるブランド価値と認知度を向上させる取り組み。
- 官民一体で「一日漁ブランド推進協議会」を立ち上げPR。
- 小中高校生を対象に、一日漁の魚を使った料理教室の開催や学校給食と連携した魚食普及。また、伝統漁法を題材にしたDVDを制作しPR。



地元の魚を利用した食材調理実習

### 農業生産法人（有）岡山県農商（岡山県岡山市）

- 青ネギ、黒豆、ミニトマトの栽培・出荷において一連の作業工程における多様な単純作業を分担して障がい者の混乱を防止。
- 障がい者の正式雇用に向けた職業実習の受入。
- 耕作放棄地の活用による農業生産活動を通じ、障がい者の更なる雇用拡大と地域活性化を推進。



障がい者による青ネギの洗浄

### 里山デイズ（岡山県美作市）

- 地域と連携した移住促進ツアー、岡山大学と連携した新入生研修、東粟倉観光協会と連携した観光ツアーを実施。
- 農家民宿を活用した宿泊を伴うイベントの開催。
- 雑穀のアワの文化や茅場の活用、修験道である後山など、地域独自の伝統・文化を継承するため、体験会を開催。



里山案内ツアー（アワの栽培体験）

### 早島農業体験協議会（岡山県早島町）

- 築約200年の古民家を改装した滞在型施設『岡山ゲストハウスいぐさ』の開業に伴い、インバウンドの受入れを開始。訪問者に「い草」の手織り等の体験機会を提供。
- インターネット（海外向け宿泊サイト）を活用した外国人観光客向けの情報発信。
- 経験者からノウハウを学び、町内で「い草」を栽培。苗の植付や刈取などを農業体験としてイベント化。



インバウンドの拡大  
(い草ワークショップ)

### 川西自治連合会（広島県三次市）

- 農家民宿・民泊、自然体験塾、子ども長期キャンプ等のグリーン・ツーリズムや近隣の観光農園での農業体験の取組と連携して都市農村交流のための拠点を形成。
- 平成29年にコンビニと産直市、食品加工販売、軽食・交流スペース等の生活拠点として、複合施設「川西郷の駅『いつわの里』」を設置。



郷の駅開業イベント

### 世羅高原6次産業ネットワーク（広島県世羅町）

- より深く地域を知ってもらうため、農家民宿数の増加目標を設定し、民宿開業に向けた家屋の改修や研修を実施。
- 新たな土産品開発のため、菓子製造工場を整備するとともに、会員へ開放。
- 会員のアイデアで、米とぶどう、ワインを使ったサブレ「Sera-riz(せらり)」や、米と果実を使ったグラノーラ「SERANOLA(せらのーら)」を製造・販売。



農家民宿体験ツアー

### 大道理夢求の里交流館（山口県周南市）

- シバザクラの植栽は、都市住民をボランティアで募集、デザインは市内のデザイン専門学校の学生からコンテストで採用。
- 平成27年に、地元の主婦により農産物加工グループ「ほたる工房」を設立し、地元産食材を使った手作り弁当「まんかい弁当」を販売。
- 平成27年から、更に地域に密着した活動展開とするべく、交流館を地元住民が管理・運営。



棚田に植栽されたシバザクラ

### 河内谷土地改良区（徳島県三好市）

- 地域の子供達（芝生小学校、王地小学校）を対象とした歴史継承、保全活動の実施（「三村用水物語」の現地見学、学習、用水路周辺の草取り、清掃活動）。
- 三村用水物語パンフレット作成等による歴史継承、PRや三好長慶武者行列祭りへの協力（沿道の水路清掃）、三村用水記念碑の整備等。



小学校現地見学・学習活動

### 五郷里づくりの会（香川県観音寺市）

- 地区の歴史・地理等を説明しつつ散策し、伝統料理でもてなす里山歩きツアーを実施。
- そば打ち体験や人気の「コンニャク」づくり等、地元の自然や農産物を活用した各種イベントの開催。HPやSNSでの情報発信。
- 平成25年に地域活性化のシンボル、伝統文化の継承施設「五郷水車」を復活。平成27年に活動拠点「あずまや」を併設。



里山歩きツアー

### 大地と語り合う会（香川県三豊市）

- ボイセンベリーや野菜栽培は、減農薬または栽培中農薬不使用で取り組む。
- 定期的な勉強会や情報交換を通じて、地域の環境に適した施肥設計を完成。
- ボイセンベリーの冷凍果実、100%果汁、ジャムなどの加工品を出荷販売し、加工品の残渣も化粧品等の原料として販売。
- 新たな加工場、直売所兼カフェを建設。



ボイセンベリーの加工品  
(果汁・ジャム)

### 丹原もぎたて倶楽部（愛媛県西条市）

- 交流イベント「丹原もぎたて祭」で、子供の農業への関心を高める取組としてトラクター試乗体験等を実施。
- 地域農業の伝統継承を図るため、地域特産の「愛宕柿」の干し柿づくりの出前授業等を実施。
- 地元産果実を使った加工品の開発・製造、移動販売車等による地域密着型スイーツ等の販売や地元農産物飲食の場を提供。



出前授業（干し柿づくり）

### 企業組合遊子川ザ・リコピンズ（愛媛県西予市）

- 廃棄されていた規格外トマトを利用して開発した自家製トマト酢をベースにした商品の製造・販売。
- 農家レストランを運営し、旬の地元産野菜、トマト加工品を使ったメニューを提供。
- 地域で開催される各種イベント（盆踊りや秋祭り）に、ピザ作りなどで参加し、地域活性化に貢献。



遊子川トマトを使用した加工品

### いしはらの里協議会（高知県土佐町）

- 住民出資の「合同会社いしはらの里」を設立し、地域住民が自ら生活店舗・ガソリンスタンド、直販所「やまさとの市」を運営。
- 農産物の直販、加工品の開発・販売、直販イベント『まると石原よさく市』の開催。
- 地域での集いの場づくりや、子どもサマースクール、ライトアップイベント等の交流イベントの開催。



住民の出資により運営する  
生活店舗

### 公益財団法人三原村農業公社（高知県三原村）

- 農業公社が中心となり、ゆず栽培面積を拡大。
- 後継者育成のため、研修生を受け入れ、ゆずやブロッコリー等の栽培技術や農業経営について実践指導。
- 農業所得向上のため、自動選果機を導入し、青果出荷率の向上を図るとともに、加工用ゆずの販路拡大を展開。
- 高齢化ゆず農家の農業支援体制の構築。



ユズの苗木植付作業



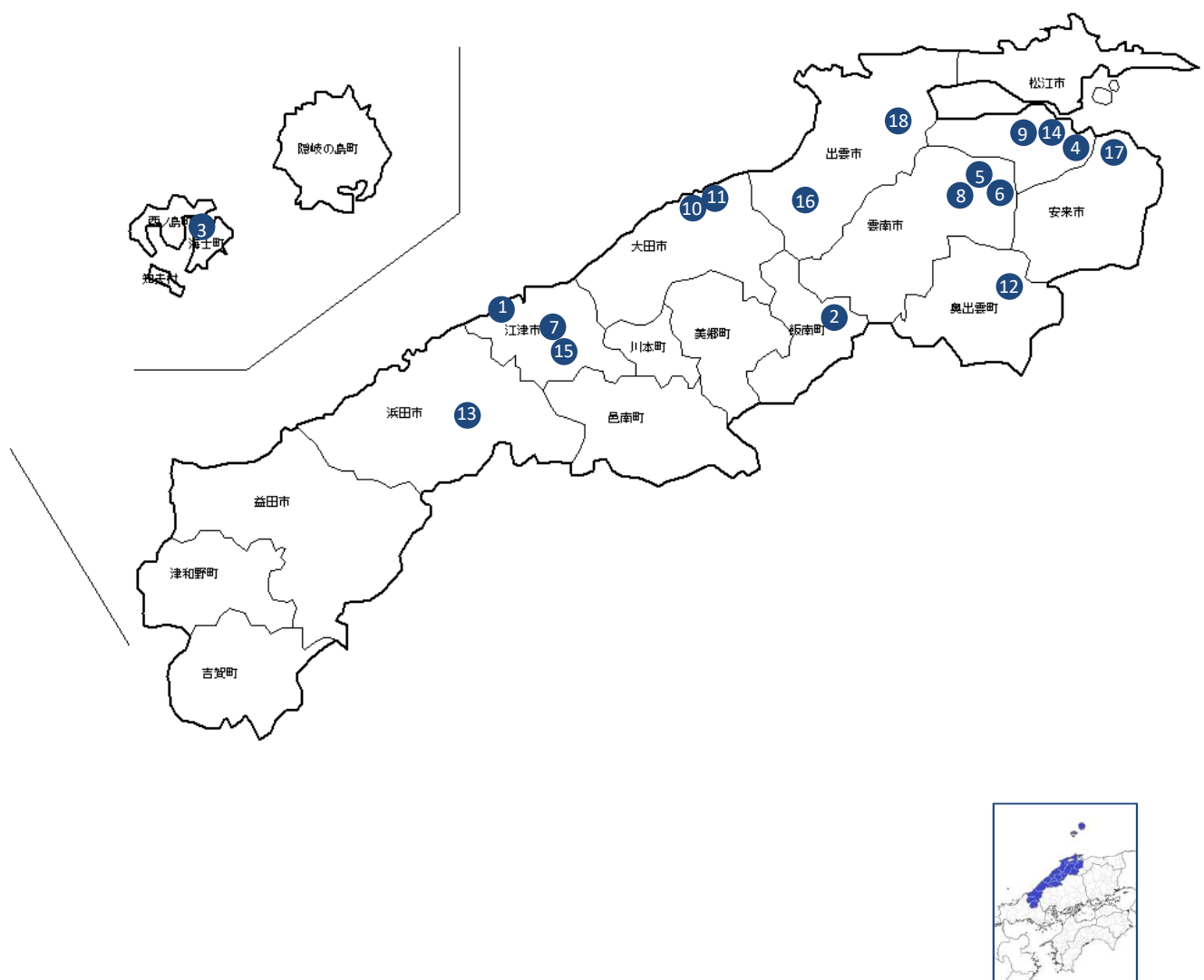
**「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」(第4回選定) 応募団体 一覧 (島根県)**

No.	選定地区	参加証コード*	市町村	団体名	該当する取り組み		
①		2017201	江津市	江津コンクリート工業株式会社	雇用	6次産業化	医療・福祉
②		2017202	飯南町	飯南町注連縄企業組合	伝統・継承	インバウンド	6次産業化
③		2017203	海士町	島の賑わいづくり推進協議会	「食」の提供・活用	6次産業化	定住・移住
④		2017204	松江市	畑ほし柿生産組合	自然・景観	伝統・継承	6次産業化
⑤		2017205	雲南市	山王寺本郷棚田実行委員会	自然・景観	子ども(教育・体験)	6次産業化
⑥		2017206	雲南市	海潮地区振興会	子ども(教育・体験)	定住・移住	その他(地方創生・農村整備)
⑦		2017207	江津市	農事組合法人川平みどり	伝統・継承	女性の活躍	その他(農地保全)
⑧		2017208	雲南市	合同会社宮内舎	自然・景観	「食」の提供・活用	6次産業化
⑨		2017209	松江市	認定特定非営利活動法人まちづくりネットワーク島根	自然・景観	子ども(教育・体験)	—
⑩		2017210	大田市	おむすびの会 (大田市食育ボランティアの会)	子ども(教育・体験)	地産地消	医療・福祉
⑪		2017211	大田市	おおだ一日漁推進協同組合	伝統・継承	子ども(教育・体験)	「食」の提供・活用
⑫		2017212	奥出雲町	環境保全型農業推進ネットワーク櫛名田姫	自然・景観	企業	—
⑬		2017213	浜田市	ハッチョウトンボを守る会	自然・景観	子ども(教育・体験)	高齢者の活躍
⑭		2017214	松江市	揖屋干拓水土里ネット	自然・景観	子ども(教育・体験)	—
⑮		2017215	江津市	市山環境保全会	自然・景観	子ども(教育・体験)	その他(農業施設の保全活動)
⑯		2017216	出雲市	窪田ふるさと会	自然・景観	子ども(教育・体験)	6次産業化
⑰		2017217	安来市	農事組合法人のきの郷	子ども(教育・体験)	6次産業化	女性の活躍
⑱		2017218	出雲市	水土里ネット出雲市斐川	自然・景観	子ども(教育・体験)	—

※ 参加証コードは、中国四国農政局「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」選定委員会が応募団体に発行する「参加証」に記載される番号です

※ 参加証コードは、応募受付順で付与しております。

## 応募団体位置図（島根県）



## 江津コンクリート工業株式会社

～コンクリート屋さんが育むトマトで町おこし～



A型事業所トマト作業の様子



B型事業所パック詰め作業の様子

## 経緯

- 創業当初から従業員の約7割で障がい者を雇用。
- 障がい者の高齢化や雇用希望者の増加に対応するため、平成26年にアグリ事業部を設立し、トマト栽培を開始。

## 取組内容

- 平成27年に就労継続支援A型事業所を、28年に同B型事業所を開設し、障がい者8名及び一般2名を雇用。
- 平成26年から借受農地にハウスを建設し、フルーツトマト「スパルタ生まれの笑ちゃん」を生産・販売。
- 自社トマトを使用したトマトジュース等の加工品を商品開発。

## 活動の効果

- 農業参入により若い世代の雇用希望が増加し、障がい者雇用の拡充が図れた。
- トマトが県内外から高い評価を受け、ハウス規模拡大により遊休農地40aが活用できた。
- 直接取引により、安定した販売先の確保と自社商品PRが可能となった。

## 応募団体からのアピール・メッセージ

トマト栽培作業や試食・販売活動等を通じて、障がい者の作業意欲向上や癒しに繋がっています。また、当社のトマトはフルーツトマトであり、糖度・酸味・食味のバランスが良いとの評価を受けています。




 しめなわ  
飯南町注連縄企業組合

～世界に誇る大しめ縄づくりの伝統を未来へ～



しめ縄づくり体験の実施



外国から観光客のみなさん

## 経緯

- 伝統的に行われてきた「しめ縄づくり」が担い手の高齢化により技術の伝承が困難になった。
- 地域の宝とも言える大しめ縄製作をはじめとする「しめ縄文化」を伝承するため活動を開始。

## 取組内容

- 企業組合を結成し、伝統の大しめ縄の製作とPR。「作り続けること」が伝統の技の継承と考え、雇用の場を創出。
- 大しめ縄の制作現場を一般に公開し、しめ縄づくりの体験メニューも提供。
- 大しめ縄の生産は年々拡大し、取引を世界に広げるのに伴い、転作作物として、しめ縄用稲わらの生産拡大。

## 活動の効果

- 「出雲大社平成の大遷宮」とあいまって出雲大社の大しめ縄の製作活動も多方面から注目され受注も増加。伝統文化を活かしながら、地域における雇用の場を創設。
- 若い世代への貴重な伝統文化の継承と飯南町への観光客誘致に貢献。

## 応募団体からのアピール・メッセージ

この地で培われてきた、しめ縄づくりの伝統を受け継ぎ、日本一といわれる出雲大社の大しめ縄のほか、全国各地の神社のしめ縄を制作しています。

## 島の賑わいづくり推進協議会

ないものはない～島を丸ごと観光資源に！～



WorkingTourismで来島した観光客と収穫体験



モニターツアーでの昼食メニューの試食会

## 経緯

- 離島という地理的に不利な条件から過疎高齢化が進み、観光客の減少も著しく空き家や遊休施設が顕在化。
- 地元の産品を島外へ販売する場合、輸送コストが嵩む。
- 未活用の地域資源が多く、有効活用のため組織横断的な取り組みが必要。

## 取組内容

- 空き家の有効活用とともに新たな人材を受入れる仕組み「Working Tourism」を観光協会の事業としてスタート。
- 耕作放棄地を開墾し、観光客の体験農場として活用するとともに観光協会の「料理人育成プログラム」との連携を目指す。
- 地元の産品を活用した昼食メニューや観光商品を中心に商品開発。

## 活動の効果

- 遊休施設の改修や空き家の提供により、これらを活用する商品開発や会社設立など、観光客を受入れるための基盤が整ってきた。
- 地元の食材にこだわった付加価値の高い昼食メニューを導入した観光コースの検討や営業効果により、地元の食材を活用する機会も生まれてきた。

## 応募団体からのアピール・メッセージ

海産物を如何に島外に売り出すかという考えから、観光客の受入れによる地産地商を進めるといった視点が生まれ、具体的な商品化に向かうまでになった。観光客の満足度を高めるため、地域全体で継続的に取り組んでいきたい。

島根県隠岐郡海士町大字福井1365-5 Tel:08514-2-0017(海士町役場交流促進課)

はた  
畑ほし柿生産組合

～伝統を受け継いできた産地の新たな挑戦～



柿小屋の風景／10月末～11月中旬頃



柿小屋コンサートの開催

## 経緯

- 畑地区は、戦後まで生活道路も無い山あいの小さな集落であったが、道路整備や自主消防組織の結成など、早くから共同で取り組んだ。
- 柿の栽培・加工に関しても、いち早く農村副業育成集落の指定を受け集落を上げて取り組んできた。

## 取組内容

- 「干し柿」を集落の特産品として住民の結集を図り、若手へは、栽培～加工までの定期的な勉強会を開催。
- 「柿の木オーナー制度」を通じた消費者等の柿ファンづくり。
- 中高生の実習や外国留学生の体験、柿小屋コンサートなどイベント開催。

## 活動の効果

- 「干し柿」を通じ、様々な交流が醸成され、特に都市部からの交流人口が増加し、地域の高齢者も活気が出てきた。
- 初の試みであった「柿小屋コンサート」に大勢の集客があり、HPやFacebookを活用した情報発信と併せ、地域の活性化に繋がった。

## 応募団体からのアピール・メッセージ

特産の「ほし柿づくり」を基に住民が一体となり「地域づくり」に取り組んでいます。お問い合わせは、下記のHPを検索し、お問い合わせコーナーよりご一報下さい。  
URL: <http://www.hatahoshigaki.jp/>

島根県松江市東出雲町上意東816



さんのうじほんごう  
 山王寺本郷棚田実行委員会

～神楽と雲海で広がる人々の輪～



棚田の夜明け



田植え。地域の方にババ引きを習っています

## 経緯

- 平成11年に「日本の棚田百選」に認定、平成14年に棚田展望台が整備されたことを契機に自治会行事として棚田祭りを開催。
- 祭りを継続するため、中山間地域等直接支払制度の集落協定対象者が有志となり、山王寺本郷棚田実行委員会を結成。

## 取組内容

- 体験学習の場としてたんぼの学校を年3回開催。
- 耕作放棄地を復田し、棚田オーナーに貸出し、棚田の景観を保全。
- 市外の公民館とコラボし、耕作放棄地を利用して棚田で綿を栽培。

## 活動の効果

- たんぼの学校等は、次第に輪が広がり、自治会から積極的な協力が得られた。
- 地域で農地保全や景観保全に取り組むようになり、棚田の維持・保全に努めた結果、棚田が地域内外の方々の癒しの場、心の和む場所となった。
- 子供たちに農作業を通して自然と人間の「共生」を実感するたんぼの学校を提供。

## 応募団体からのアピール・メッセージ

過疎・高齢化の進行が激しい現状ではありますが、棚田の維持保全・歴史ある地域文化を地域外からの応援も得て伝承し、地域の活性化を目指して活動を続けていきます。

うしお  
海潮地区振興会

～住民が主人公、海潮総活躍社会を目指して！～



整備事業で蘇った「うしおの沢池」全景



「うしお児童クラブ」での作業の様子

## 経 緯

- 海潮村当時、内務大臣から模範村として2度の表彰を受けた。
- 昭和の合併後、中学校の校舎建て替えが実現しないため、地域内のすべての組織が一体となって「地域の想い」を実現するため、振興会を組織し要望を実現した。

## 取組内容

- 幼稚園の放課後預かり保育を始め、児童クラブなど働く若者の住環境の整備。
- 「ため池百選」選定を契機に「うしおの沢池」の保全管理、遊歩道の整備、景観保全など環境整備。
- 定住支援、田舎暮らし体験ツアー、Uターン交流事業、神楽の継承など。

## 活動の効果

- 住民自らが幅広い事業に取り組んだことで、異世代交流が促進、地域の活力につながった。
- 待機児童の縮減、女性の外での活躍機会の拡大。
- 「うしおの沢池」整備により災害リスクの低減や生態系の保全が図られ、周辺整備による観光資源としても発展中。

## 応募団体からのアピール・メッセージ

地域の課題は、自らの責任で取り組み汗をかき地域を守る。困難な事柄については、行政と協働で課題解決に取り組み、元気な地域を目指して活動を展開しています。

かわひら

## 農事組合法人 川平みどり

～「限界集落」から「源快集落」へ～



川平町 花田植えの様子



女性グループによる農産加工の様子

## 経緯

- 「皆が楽しみながら地域を活性化するにはどうすれば良いか」を話し合い、平成18年5月に集落営農法人を設立。
- 「限界集落から源快集落へ」を合言葉に、営農だけでなく地域全体を快適な集落にするための村づくり活動に取り組んでいる。

## 取組内容

- 農地を集積し、米・大豆や野菜のほか、健康食品原料(大麦若葉)を生産し、農業所得向上や農地の維持管理を実施。
- 「松平たすけ愛協議会」の中核を担い、花田植え等の伝統文化継承を実施。
- 女性活動の場として、野菜生産や餅・菓子等農産加工品の製造・販売を実施。

## 活動の効果

- 採算の取れる水田農業の実践と、地域全体の耕作放棄地解消や農業振興に寄与。
- 女性グループが野菜栽培や農産加工部門を担い、女性の活躍の場創出とともに地域が盛り上がっている。
- 「松平たすけ愛協議会」の住民参加型活動を通じて、地域全体に活気が生まれた。

## 応募団体からのアピール・メッセージ

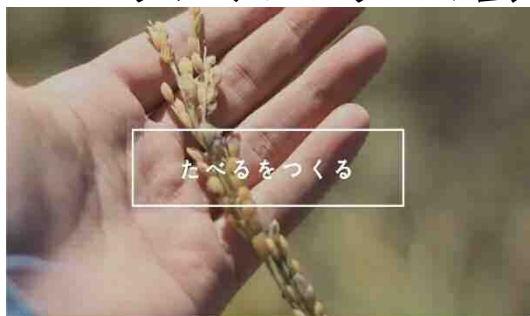
タイで日本語学校を経営する方の松川町居住をきっかけに、花田植えのタイ人留学生の参加・交流が始まりました。また、杵つき餅の実演販売は、年24回行うなど人気イベントとなっています。

島根県江津市川平町 Tel:0855-55-0288 (FAX兼)



みやうちや  
合同会社 宮内舎

～地域のお米を利活用、  
グルテンフリーの玄米麺で新しい経済をつくる！～



集落の様子



地域外の若者と「ハデ」たて交流

## 経緯

- 高齢化や米価の下落により、農地が荒れていくのを見て、米価の引き上げができれば耕作放棄地の再生につながると考えた。
- スタッフが小麦アレルギーだったことから、完全グルテンフリーの「玄米麺」の加工販売に着手。

## 取組内容

- 地元の農家に、農薬・化学肥料に頼らない栽培方法を提案・移行。
- 玄米麺の原材料として、お米の買い取り価格を、平均1.9倍に定めて買い取り。（JAの買い取り価格と比較）
- 子どもがいてフルタイムで働けないお母さんをパートとして雇用。

## 活動の効果

- H26年と比べ、H28年には農薬不使用の耕作地が60アール増加し、安心・安全な米の生産につながる。
- お米を一般的な米より2倍前後の価格で買い取っていることから、農家のモチベーション向上、所得向上に加え、耕作放棄地の再生につながった。
- 小麦アレルギーでも食べることができる「玄米麺」により、食の選択肢が増え、消費者との交流が生まれる。

## 応募団体からのアピール・メッセージ

農業を中山間地域で続けるために、「農作物を作り、加工して販売を行う」。社会経験の乏しい20代の代表者を地域の方や農家さんの共感を頂き、活動を続けています。

## 認定特定非営利活動法人まちづくりネットワーク島根

～耕作放棄地・遊休農地の解消の決め手は、“「農」に親しむ市民農園で”解決～



平成21年当初の様子



現在、市民農園として利用

## 経緯

○昭和50年代に草地造成され、柿、梅、茶などの栽培が行われた農地も、平成20年には、耕作者も高齢化し、耕作放棄地が点在。原野化した農地も見られ、農地を農地として後世に伝えることが必要と考え、再生農地の有効利用として市民農園を開設運営し9年を経た。

## 取組内容

- 耕作放棄地等を再生し、市民農園を開設・運営。
- 耕作放棄地、遊休農地を踏査、農業者向けのパンフ配布による遊休農地の再生利用に向けた普及活動。
- 一般市民向けの農園体験教室(3月から11月・第3土曜日)を開催。

## 活動の効果

- 農園体験教室は、参加者が述べ1,000人を超える大きなイベントとなり、参加者からは、徹底した管理指導に関し高評価を得ている。
- 現在、無農薬、減農薬栽培にチャレンジする利用者も増加し、徐々にではあるが、徹底した野菜作りに取り組む利用者も増えている。

## 応募団体からのアピール・メッセージ

各種イベントへのブース出展や活動のPR等積極的に行い、農園利用者の拡大に努め、各地域に点在する耕作放棄地・遊休農地の有効活用(市民農園)に努めていきます。 URL: <http://www.machi-s.com>

## おむすびの会(大田市食育ボランティアの会)

～食で人と地域とところを結ぶ～



育児サークルでイサキを使った炊き込みご飯作り



高齢者施設での巻寿司作り

## 経 緯

- 平成23年、食をとおして健康で豊かな人・まちづくりを目指した養成講座が開催され、受講した修了生が平成24年5月に本会を設立。
- 設立以降4年間で約120人の食育ボランティアが誕生し市内全域で食育活動を推進している。

## 取組内容

- 子ども達に、食に込められた思いを伝えていく取組を毎年行っている。
- 魚離れの進む若者世代に、大田の美味しい魚の食べ方を紹介。
- 地域の高齢者施設において、季節を感じる料理をすることで、お互いに元気をもらい合いながら活動。

## 活動の効果

- 子どもたちや保護者と楽しく料理をすることで、家庭で作るきっかけや食への関心が高まり、食に込められた思いが次世代へとつながって行く。
- 高齢者施設では、食育活動をとおして、生活にメリハリがついたなどの声と笑顔をいただき、食育ボランティアとしてのモチベーションの向上にもつながった。

## 応募団体からのアピール・メッセージ

大田市は豊かな自然と食に恵まれた地域です。その環境を最大限に活かし、市民のみなさんが食を通して健康で豊かに暮らせるよう、これからも活動を積み重ねていきたいです。





## おおだ一日漁推進協同組合

～ 一日漁の新鮮な魚を全国の食卓へ届けます～



その日とった漁師のさかな



ロゴデザイン、シール、幟等を作成



高校で地元の魚を利用した食育調理実習

### 経緯

- 一般的な底引き漁は3～4日出漁し朝競りに、一日漁は出漁したその日の晩に。鮮度・価格とも高く、全国でも4ヶ所だけの伝統的な漁形態。
- 伝統を守り、ブランド価値を高めるため「一日漁」「晩市」の商標を取得し全国展開を視野に、平成24年に推進協同組合を設立。

### 取組内容

- デザインロゴを作成し、ポスター、シールを県内外のスーパー、卸業者に配布しブランド価値の強化を図る。
- 小中高生に、著名なシェフを招聘し、一日漁の魚を使った料理教室を開催。
- 学校給食とも連携し、新鮮な魚の魅力を伝え魚食普及に努める。

### 活動の効果

- 地域商標を取得し、ロゴデザイン、シール、ポスター、幟を取扱店に掲示することで、生鮮製品の差別化が図られ消費者への認知度が高まり好評を得ている。
- 伝統的な魚形態を守り続け、ブランド価値を高めることにより、高い魚価が長年維持され、若い船員の後継者が多い。

### 応募団体からのアピール・メッセージ

大田市の漁業(生産者)の後押しが出来ればとの思いから、大田市の漁形態を「一日漁」と名付け、水揚げされる魚の鮮度・品質・美味しさをアピールしてブランド化に向けた活動をしています。

くしなだひめ

## 環境保全型農業推進ネットワーク 櫛名田姫

～品質ブランドで環境保全型農業の聖地を目指す～



紙マルチ田植機での作業の様子



島根大学生の農業研修(意見交換)の様子

## 経緯

- 50年前から取り組んでいた環境保全型農業による米づくりに加え、当地で生産されるエゴマも含め、奥出雲町の合併を機に、所縁のある稲作の神様の名前を冠した品質ブランドを確立。
- 斐伊川水系の環境保全に取り組むNPOと連携し、環境保全型農業の体験プログラムを共同開発。

## 取組内容

- 紙マルチ田植機の共同利用と実践者の全国連携による環境保全型農業の普及・推進。
- アグリフードEXPO等の商談会出店や営業を通じて消費者ニーズの把握と生産現場へのフィードバック。
- 大学生の農業研修、消費者の農業体験の受け入れ実施。

## 活動の効果

- 農薬不使用有機栽培という手間とコストのかかる栽培方法を紙マルチ田植機の導入による省力化・低コスト化でロットを確保。アグリフードEXPOへの連続出店を実現。
- ブランド化により都市部米穀店への直接販売が可能となり、持続可能な販売価格が会員のモチベーション向上に繋がり、会員数増加、生産・販売先拡大と好循環に。
- 消費者に環境保全型農業の理解が深まり、環境保全活動のネットワークが拡大。

## 応募団体からのアピール・メッセージ

斐伊川水系の源流で環境保全型農業の普及・推進を図るネットワーク活動を行い、全国に環境保全型農業の聖地として発信していきます。

## ハッチョウトンボを守る会

～地域の宝 赤い妖精ハッチョウトンボを守り活かす～



ハッチョウトンボと1円玉比較のようす



ハッチョウトンボ生息地観察・学習会や水路の維持管理

## 経緯

- 耕作放棄地で絶滅危惧種の「ハッチョウトンボ(日本最小)」を発見。
- 地域住民で草刈等の保全活動を開始し、トンボの生態を勉強し守る活動を開始。
- 多くの人に伝え、地域の宝としてその貴重さの認識など保護対策が必要。

## 取組内容

- 冬期の枯れた草の刈り取りや周辺の山の木、竹の伐採などの保全活動。
- 木道の設置、周辺舗装、日よけ小屋、駐車場の整備など環境整備を行った。
- 高校生がハッチョウトンボを研究課題として取り上げ、研究発表会や学習会で発表、小学生への授業などを実施。

## 活動の効果

- 荒れ放題の耕作放棄地でトンボが発見されたことにより、県内外に観光資源としてPRしたことで観察者が増加し地域が活性化。
- 高校生による研究発表授業は、児童の生物への関心や環境保護などの啓発に繋がった。
- 高校生はもとより、中学生、大人へと「地域の宝」として取組が進化。併せて保護活動が実を結び、徐々に個体数が増加している。

## 応募団体からのアピール・メッセージ

2015年6月「絶滅危惧種1種モートンイトンボ」を発見。日本最小トンボは、【勝利のトンボ】&【赤い妖精】です。トンボに会いに是非きちゃんさい(浜田の方言)。



## 揖屋干拓水土里ネット

～一歩ずつ、ゴミゼロの農業水路を目指し！～



ゴミ拾いと干拓水仙ロード



揖屋干拓地について学習

## 経緯

○揖屋干拓地は、平成元年から入植及び営農が開始されたが、外部からの不法投棄や空き缶等のポイ捨てが後を絶たず、景観を損ねるだけでなくゴミが排水機場等に流入するなど、土地改良施設管理にも支障が生じたため、平成19年からゴミゼロを目指して活動を開始した。

## 取組内容

- 春と秋の年2回、中海干拓地クリーン作戦として干拓関係者や地域の方々とゴミの収集を行った。また、町内の小学生へ総合学習として、土地改良施設の重要な役割などを説明した。
- 幹線道路沿いに、景観用として黄色の水仙を植栽。「干拓水仙ロード」の看板を作成、設置しPRを行っている。

## 活動の効果

- 地域共有の財産をみんなの手で保全しようとする意識が定着してきている。
- 不法投棄も減少し、景観保全のみならず、土地改良施設管理の支障が軽減した。
- クリーン作戦に併せ農業体験を行い、子どもたちが農業に興味を抱いた。

## 応募団体からのアピール・メッセージ

ゴミゼロを目指したクリーン作戦を通して、農業振興とともに、地域の活性化に取り組んでいます。

いちやま  
市山環境保全会

みどり  
～わたしたちの美土里次の世代に残します～



棚田での農業体験及び収穫祭の様子



農業施設保全やイベントなど地域活動の様子

### 経緯

- 20数年間放置された耕作放棄地を約2年の歳月を掛けて9枚の棚田とため池に復活させた。（“やぶさめの棚田”と“やぶさめのため池”）
- 平成19年度農地水環境保全対策事業を契機にして、農業者だけでなく、地域ぐるみで農地・水路等の保全管理を開始。

### 取組内容

- 小学生が農業体験により収穫した古代米を公民館に贈呈し、地域イベント等で活用。
- 地域ぐるみの協力体制の下、農地・水路等の保全活動を実施。
- 農薬や化学肥料を使わない米づくりに取り組む“ふゆみずたんぼ”など環境にやさしい農業を実践。

### 活動の効果

- 収穫した古代米は、各種イベント等に活用され、地域活動の輪が集落から町内に拡大。
- “ふゆみずたんぼ”の取組みにより、地域住民に環境にやさしい農業への関心が高まり、併せて保全管理活動に非農業者の参加が増加。

### 応募団体からのアピール・メッセージ

10年を経過した本事業の取組は、当地域では切り離せない存在となっています。次世代を担う子供たちに地元の自然を五感で感じてもらい、自然と生物の情報や環境農業の意義を伝えてくれる人材を育てる組織と交流しながら活動を行っていきます。



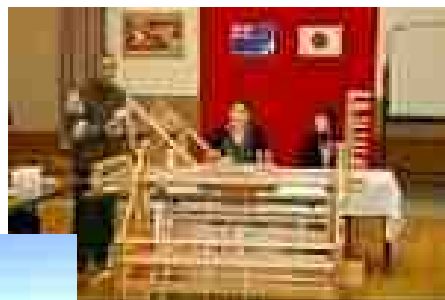
くぼた  
**窪田ふるさと会**

～7つの力を一つにして～



羊とのふれあい体験

羊毛加工による  
国際交流



大規模ハウスの導入による  
農業経営の多角化

### 経 緯

- 平成17年から、29自治会を7つの振興協議会に再編成し、新たな住民組織で地域づくりを推進。
- 平成19年からの「農地・水保全管理支払交付金」の導入を契機に、窪田地区7振興協議会をまとめた「窪田ふるさと会」を結成し、オール窪田で様々な取組を開始。

### 取組内容

- 雑草対策として放牧した羊の羊毛加工を行い、マフラー等の製品を販売。毛刈り体験等を通じて、児童や地域内外の住民との交流を推進。
- 地元産木炭を活用した川の水質浄化や川での子供達的环境学習を実施。
- 環境保全型農業への取組や大規模ハウスでの野菜の生産など、中山間地域での農業経営の多角化を推進。

### 活動の効果

- 「窪田ふるさと会」の活発な活動が、窪田地区の絆を深め、「ふるさと窪田」を守る機運が向上。
- 環境保全型農業や大規模ハウス導入により農業経営の多角化に取り組む農家が30名から50名に増加(H24→H28)。

### 応募団体からのアピール・メッセージ

羊毛加工に取り組む「メリーさんの会」の中心メンバーは、地元の農家の奥さんで、週末には他の地区から手伝いに来られる人も多い。  
「メリーさんの会」では会員を募集中。

島根県出雲市佐田町八幡原492番6 Tel:0853-85-2585(窪田コミュニティセンター)



さと  
農事組合法人 のきの郷

～地域の活性化は、子どもたちの笑顔と女性、高齢者の活躍～



小学校と連携した農業体験の様子



菜種畑を利用したイベントの様子

### 経緯

- 近隣地域で大規模な農業経営が開始されたことから、有志により地域の将来について議論を開始。
- 3町内が1つにまとまり、「ほ場整備と営農組織を立ち上げ、1本化するしか方法はない」と考え、地区内で徹底的な議論を重ね、営農組織を発足し、その後、法人を設立。

### 取組内容

- 地域の小学校の体験学習を受入れ、農作業体験を通じ、子供たちに地域の産業としての農業を伝えることを実施。
- 菜種を栽培し6次産業化でなたね油を商品化、また、春には菜種畑でイベントを実施。
- トマトやキャベツなどを栽培し、地域に活躍の場を提供。

### 活動の効果

- 「なたねちゃんフェスタ」「きてごしない祭り」などイベントを開催し、子供から高齢者まで地域住民のふれあいの場となっている。
- トマトやキャベツの栽培による新たな活躍の場を提供したことにより、特に女性がいきいきと活躍するなど地域が活性化。

### 応募団体からのアピール・メッセージ

地域の更なる活性化、農業経営の安定化を図る取組を今後も続け、ホームページやSNSを利用して情報発信も行っていきます。ぜひ、イベント等へお越し下さい。  
「農事組合法人のきの郷」URL:<http://nokinosato.com/>

島根県安来市利弘町922-3 Tel:0854-22-2580

みどり いづもしひかわ  
水土里ネット出雲市斐川

～花のまち ひかわを担う人づくり、地域づくり～



小学校へ出向き出前授業



保育園児と用水路敷地への植栽活動

## 経緯

- 地域の揚水機場、パイプライン、農業用用水池を維持管理する中、平成12年から各種団体や地域住民とともに用水池の清掃を実施。
- 平成19年から農地水環境保全向上対策事業に取り組み、斐川町全体で農業用施設の維持・保全を実施。

## 取組内容

- 行政、消防署等の関係団体や地域住民と連携し、出前授業や生き物調査を通して地域農業や土地改良区の役割などを広く普及。特に、斐川町内の4つの小学校へ毎年、出前授業を実施。
- 土地改良施設への植栽活動を行い、「花のまちひかわ」の活性化に向けた活動として地域住民、観光客に好評。

## 活動の効果

- 学校の先生方から、農業用施設の役割や多面的機能を伝える活動が、子ども達が地域に誇りを持ち、地域を大切にする心を育むと高い評価を得ている。
- 土地改良施設の植栽活動は、「花のまちひかわ」の活性化に向けた活動として地域内外の方々にも高い評価を得ている。

## 応募団体からのアピール・メッセージ

斐川町のかげがえのない地域資源を次世代を担う子ども達へ繋げるため、地域の中心として頑張っていきます。



「デイスカバー農山漁村(むら)の宝」  
(第4回選定)応募団体取組事例集(島根県版)

---

【お問い合わせ先】

中国四国農政局農村振興部農村計画課

〒700-8532 岡山県岡山市北区下石井1丁目4番1号 電話: 086-224-4511

中国四国農政局島根県拠点

〒690-0001 島根県松江市東朝日町192

電話: 0852-24-7311

---